

## どんぐり村の こみ・すく通信

令和6年7月10日発行 令和6年度第7号

更別村コミュニティスクール委員会事務局(教育委員会)

## 地域農業の将来を考える 地域の先輩から学ぶ

更別中央中学校1年生は、総合的な学習の時間で地域農業の将来を考える機会とするため、更別で栽培されている小麦について学んでいます。

7月1日、岡田農場を訪れ、更中卒業生の更別プリディクション代表の岡田昌宏さんに、スマート農業や小麦について教えていただきました。はじめに、岡田さんから小麦やスマート農業についての説明を受けた後、ロボットトラクターを見学しました。将来的には運転士がいなくてもトラクターの自動運転や、AIの活用により、効率的な仕事が可能であることを教えていただきました。

次に、畑の上空にドローンを飛ばし、ドローンが受けている映像を子どもたちのクロームブックで見て遠くにいながらも小麦の生育状況を知ることができることを学びました。



更別農業高校圃場へ移動し、圃場の小麦の見学をした後、農業科の生徒からグループで話を聞きました。

普段から小麦を育てている高校生が小麦の紹介をし、質問にも答えてくれました。



## みんなの学校応援団の活動を紹介<その3>

### 更小2年生が花壇に花植え 更別農業高校の支援を受けて

6月13日、更別小学校2年生が、更別農業高校の生活科学科2年生16名の生徒たちの支援を受けながら、「花いっぱい」の花を花壇に植えました。

花壇のデザインは、更小2年生が開校100周年を意識して考えたものです。高校生に優しく教えてもらいながら一つ一つ丁寧に花の苗を植えました。



花植えが終わった後は、一緒に鉄棒をしたりお話をしたり、楽しそうに交流しました。高校生が帰る時には校門まで見送りをする子までいました。とてもよい交流になりました。

